



生物多様性の道プロジェクトは、 次の2つのウェブサイトでご案内しています。

日本自然保護協会 (NACS-J) CBD・COP10企画



日本自然保護協会 (NACS-J) ウェブサイト
<http://www.nacsj.or.jp>



SISPA (シスパ:戦略的保全地域情報システム)
<http://www.sispa.info>

●生物多様性の道プロジェクト 予定表

予定は変更になることがあります。詳しい日程は会報『自然保護』、NACS-Jウェブサイトで順次ご案内します。

2009年	7月	プロジェクトスタート!「生物多様性の道」参加者募集!! 生物多様性、生態系サービスモニタリング 参加受付 生物多様性の守り手ガイドブック 参加受付 生物多様性・実感研修会 ①(佐賀)開催 プロジェクトガイド、エントリーシートの配布 NACS-Jウェブサイト「生物多様性の道」ページ公開
	8月	生物多様性・実感研修会 ②(賛助会員向)開催
	9月	「生物多様性の道」応募〆切(一次)
	10月	生物多様性・実感研修会 ③(埼玉)開催
2010年	1月	エクスカージョン「生物多様性保全への道標をめぐる」案内開始 生物多様性・実感研修会 ④ 開催
	3月	市民調査発表会案内開始
	4月	生物多様性・実感研修会 ⑤ 開催
	5月	「生物多様性の道」公表! 生物多様性、生態系サービスモニタリング調査結果の発表 SISPAでの結果公開
	6月	「生物多様性の守り手ガイドブック」の発行
2011年	7月	市民調査発表会 開催
	7~10月	エクスカージョンの実施 COP10イベント、サイドイベント等での意見発表、政策提言
	10月18~29日	第10回生物多様性条約締約国会議(名古屋)への参加
2012年	1月	生物多様性・実感研修会 ⑥ 開催
	4月	生物多様性・実感研修会 ⑦ 開催
	10月	生物多様性・実感研修会 ⑧ 開催
2012年	9月	生物多様性の道プロジェクト成果報告書の発行



生物多様性の道プロジェクトは、家の周り、地域で、いつまでも大切に残していきたい自然を「生物多様性の道」として登録し、ずっと見守っていこうという活動です。

いろいろな生き物がある場所、自然のありがたさ・よさを感じとれる場所、市民が自然を守る活動をしている場所、地域ですっと大切にしてきた場所などを募集して発表し、その大切さをアピールします。

そして、その場所の「生物多様性(生き物や自然の様子)」「生態系サービス(自然とのふれあい・自然の恵み)」「自然を守るための活動」を、簡単な方法で調べて記録し、その自然がよりよい状態で保全されるようモニタリングします。

全国各地で地域の自然とその自然とのかかわりの中で培われてきた文化や暮らしを再発見し、未来に引き継いでいくこのプロジェクトに、ぜひご参加ください!



問い合わせ・応募先

日本自然保護協会 (NACS-J) 生物多様性の道プロジェクト係

〒104-0033 東京都中央区新川1-16-10 ミトヨビル2F
Eメール: waytob@nacsj.or.jp TEL:03-3553-4104 FAX:03-3553-0139
<http://www.nacsj.or.jp/project/waytobiodiversity>

プロジェクトの活動 生物多様性の道プロジェクトでは、6つの活動を企画しています。

活動名の後ろに参加の方法が書いてあります。活動ごとに募集期間、参加申し込み方法などが異なりますのでご注意ください。

1 生物多様性、生態系サービスモニタリング 〈エントリーシートで申し込み〉

地域の自然と、その自然とのかかわりの中で培われてきた文化や暮らし、そんな地域の価値を再発見し、将来にわたり保全するため、モニタリングします。生態系サービスモニタリングでは、食べ物、水、産物、遊び・仕事、子どもの遊び場、技術、行事・まつり、神様・神事などを調べます。これらは、日々の暮らしとかわる、市民が五感でとらえた生物多様性に関するデータとなります。この結果に基づき、生物多様性保全のための提言を行います。



2 生物多様性の守り手ガイドブック 〈エントリーシート&別紙1で申し込み〉

「生物多様性の道」に通い、手入れをし、その場所を守るために活動している団体のみなさんの活動や、生物多様性を感じとれる散策・観察コース（ネーチャートレイル）、その場所ならではの自然の恵み（食・水・暮らし・風景など）を紹介するガイドブックをつくります。ガイドブックは、読んだ人に「生物多様性の道」を訪れ、みなさんの活動を応援してもらえるよう、多くの人に配布します。さらにNACS-Jウェブサイトの「里モニ・各地の仲間」ページにも情報を掲載し、たくさんの方に伝えていきます。



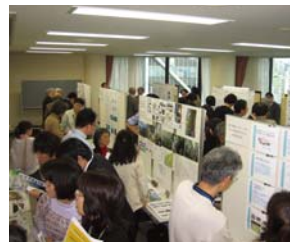
3 生物多様性・実感研修会 〈開催前に行う参加者募集に個別に申し込み〉

生物多様性をまもるといっても、それは一体何なのか？ 実感しなければわかりません！身近に存在している生物多様性を、いろいろな調査を通じて実感する方法、また観察会などでそれを伝える方法について学びます。研修会は、「自然観察指導員・会員向け」と「賛助会員向け」の2種類があります。生物多様性の実感のしかたを学び、あなたの地域にも「生物多様性の道」をつくりませんか。



4 市民調査の発表会 〈開催前に行う発表者・参加者募集に個別に申し込み〉

全国各地で実施されている市民の手による自然環境の調査の発表会を開催します。パワーポイントやポスターを用いた成果の発表やブース展示、分科会などを行い、さまざまな知恵と人のネットワークをつくり、市民調査の活性化につなげます。地域の自然を守るための調査データは、地域そして日本全体にとっても財産です。調査でのちょっとした知恵、気づいたことなど、みなさんの調査活動をお知らせください。発表会の成果は、COP10の機会を活用してアピールします。



5 市民活動と企業のCSR活動のマッチング 〈別紙2で申し込み〉

「活動を手伝ってくれる人が欲しい」「活動場所に案内の看板を立てたいけど材料と費用が足りない」「ミーティングする会議室を借りたい」「保護を呼びかけるチラシを作りたいが、パソコンでの作り方を教えてほしい」など、あと少しの支援があれば活動を発展させることができるという、活動団体からの希望を調べます。一方で企業が進めるCSR活動の中で求めている地域活動や条件なども調べ、支援希望の企業を募って、市民活動とのマッチングの場をつくりたい。



6 エクスカーション「生物多様性保全への道標をめぐる」 〈各回・個別に申し込み〉

これまでNACS-Jが取り組んできた、生物多様性のホットスポット、自然保護問題の現場を訪ね、生物多様性保全の課題と問題解決の道のりを学ぶスタディーツアーです。現在、ツアー候補地として群馬・AKAYAプロジェクトエリア、熊本・川辺川～不知火海などを検討中です。乞うご期待！



参加方法

- ①エントリーシートを取り寄せ、必要事項を記入の上、次ページの「生物多様性の道プロジェクト」係までEメールまたは郵便でお送りください。
- ②エントリーシートは、NACS-Jウェブサイトからダウンロードできるほか、郵送しています。郵送希望の方は次ページの問い合わせ先までご連絡ください。
<http://www.nacsj.or.jp/project/waytobiodiversity>
- ③「生物多様性の守り手ガイドブック」「企業のCSR活動のマッチング」に参加ご希望の場合は、エントリーシートに加え、それぞれ別紙1あるいは別紙2にもご記入の上、お送りください。
- ④「生物多様性・実感研修会」「市民調査の発表会」「エクスカーション」は、それぞれ開催期日のおよそ2カ月前から案内を開始します。ご希望の場合は、案内にそって申し込みください。

応募メ切 2009年9月末日（一次）

応募にあたっての留意点

- ①エントリーシートは、それぞれの項目に情報の「公開」「非公開」を表示しています。「公開」の項目については記入いただいた情報をそのまま、または加工して（集計、要約など）公開します。公開したくない情報がある場合は、記入時に十分ご注意ください。
- ②エントリーシートの項目のうち、特に希少種の情報や、個人情報などについては、公開による影響を十分考慮して記入をお願いします。公開用メールアドレスは、ウェブサイトに掲載すると、迷惑メールが増えることが予想されます。
- ③ご提供いただいた写真は、返却できません。あらかじめご了承ください。
- ④1つの団体で、複数箇所の登録をご希望の場合は、場所ごとに別々の「エントリーシート」でご応募ください。

生物多様性条約 豆知識

生物多様性条約とは、1992年にブラジル・リオデジャネイロで開催された「地球サミット」で、気候変動枠組み条約と一緒につくられた国際条約です。現在、191カ国が参加しています（アメリカを除く）。1994年から条約締約国による会議（COP）を開催しており、2010年10月に第10回締約国会議（COP10）を日本・名古屋で開催することが決まっています。

私たちの暮らしや経済に欠かせない自然の恵み（生態系サービス）をもたらす生物多様性の保全や、その持続可能な利用、遺伝資源へのアクセスとそこから得られる利益の公正・公平な配分という3つを目的に掲げている条約です。そのため「地球の上に生きる生命（いのち）の条約」とも呼ばれ、私たちの生活に密接に関係しています。また、生物多様性国家戦略や特定外来生物法など、生物多様性保全に関する日本の法制度や政策も、この条約に基づいてつくられています。

これまで、「生物多様性の損失速度を顕著に抑える」という2010年目標に向けて、さまざまな世界基準やガイドラインがつけられてきました。日本で開催されるCOP10では、その2010年目標に代わる新たな世界の目標をつくることから、世界中が注目する会議となりそうです。

